

知的生産の技術5 20011112

過去の事を文章にした時に
出てこなかった記憶も
話をしているうちに
思い出すことができた

今思うと中学時代は
子供だった。でも当時は
大人だと思っていた。

最近CMで
手に入れたモノを
失うことによって
人間は成長できる。」
という言葉が出てくる
ものがあるのですが
自分の中学時代を
思い出すと心に響く

「人生のテーマ」について
少し焦りを感じていたのですが
今の時点では中テーマもしくは
小テーマを探せばいいのだと
分かり少し気が楽になった

中学の頃を考えたことによって
何のために…」という自分への
疑問で一杯になった。あの頃は
本当は「自分」として生きて
いなかったのかもしれない。
そんな自分に気付いて
何だか悲しくなってしまった

今日の導入は
「笑い」で
入ったんですね

思い出したくないことを
思い出して考えることも
重要なことだと思った

この授業は私に
色々なことを
教えてください。
来週が楽しみです

人により生きてきた
背景の違いによって
夢や将来に何になりたい
という考え方も違う

タイプ1

タイプ2

自分が尊敬している人の人生に
ヒントを得てみたいので、自分史を
書くのと同時に、その人の人生史
みたいなものを書いてみたい。
中学は自分にとって
最も輝いていた時代でした

今日は に混ざった。 の席が
後ろだったので、席が満杯で
座れなかったからです。
皆さんきちんと自分の席に
座って欲しいです

「タイプで経験が似るのではなく
経験がタイプを分ける」という
考えには同感です。自分史に
書けないことが多くなりすぎたら
それは本当の自分史で
なくなってしまうのではないか

「人生その時その時に
テーマを見つけて
一生懸命生きていけば
いいじゃないかー」と
いうのは印象的でした

今までは意識的に中学時代の記憶を
閉じ込めることしかしていませんでしたが
これからは辛いことも全て受け入れることで
更に自己形成をし、自分を変えていきたい。
辛かったことも貴重だと思ったので
今日はとても良い時間でした

自分とは何かを常に考え
てもがき苦しみながらも
将来を考えることは
すごい大切なことだと思う
日々常に、今自分が思っ
ていることに、一生懸命に
取り組むことが一番早い
自分を見つけるための
近道だと思う

先生は間違いなく「3」だと思った。
「3」以外に有り得ないと思った。
着々と階段を昇ってきて
これからも進むぞー！みたいな
何かそういうオーラがあります

自分はこうしたいと
主張した時から
親から「反抗期」と
言われるよう
になったと思う

タイプ3

思い起こせば
部活が80%を
占めていた。
それと各タイプに
向いている職業の
プリントはあるのですか？
もらえなかったので
ありましたらください

今日は2, 4の人とも
話したが、3の人と
1番盛り上がっていた。
不思議ですね

自分の「夢」というものが
大分変遷しているようだ

タイプ4

価値観の
違う人達と
過ごす時間は
辛くもあり
楽しくもある
自分の気持ちの
持ちようだ

「ムキになることに意味はない」
と言い聞かせて日々の安定を
保っていますが、今日の先生の
話を聞いているとそれはつまり
情熱をもっていないという
ことなんじゃないかなとか考えて
ちょっと安定が崩れかけです

久恒先生も野田先生も
タイプ3だと聞いて
とても驚き&嬉しいです！
先生のなりたい職業が
全てタイプ3に
当てはまるのも驚き

知的生産の技術5 20011112

振り返ってみると
貴重な時間を無駄にして
しまったように思える。
自分が変わったのは
ごく最近なのだと思う
当時から今のように
過ごせたらと
後悔ばかりしていた

中学時代の
1,2年生の頃の記憶は
いいことより嫌なことばかり
覚えている気がします。
普段の生活はそれなりに
楽しかったはずなのに。
自分の中で記憶を変えて
しまっているのでしょうか

知的生産とは
どういう意味だったか
もう一度簡単に
教えてください

中学時代は
今までの生活の中で
最も思い出したくない
時代かもしれない。
自分の考え、行動が
幼いし、辛いことも
多かった。自分の性格、
周りの反応について
一番悩んでいた
時期だと思う

人と話してみると
中学は今までと違って
環境がそれぞれ違って
連鎖反動的に思い出す事が
少なかった

私の中学時代の思い出は
部活しかなくて本当
毎日部活づけでした。
今の私を作り出したのも
この時代だと思います。
今となって当時の先生達に
感謝している事に気が
きました。やっぱり振り返る事は
大事だと思います

自分の中学時代は
とりあえず幸せな
日々であったと
再認識。戻りたい

成人式が
楽しみになった

中学時代は楽しい
思い出ばかりあり
楽しい時間はすぐに
過ぎてしまうのだなと
思った。一生幸せな
人の人生というのは
短いのだろうか

私の人生も大学時代が
今後大きく影響するのかなと
思った。だとしたら豊かな
人生を送るために、毎日
漫然と過ごすことだけは
やめようと思う

タイプ
4

やはり自分から
何か新しいことを
始めなければ！
という気持ちに
なりました

この講義は
自分史の
ためだけではなく
色んなことを
学べると思った

少年時代を思い出していると
自分は観察者というか
傍観者だったと思う
傍観しているのは楽だから。
観察などというレベルの
高いことはしていない

高校入試の勉強は
その当時までで
一番努力した出来事で
その後の自信にも
つながった

部活しかやっていなく
その分狭くなった
気がしましたが
逆に何かを突き破って
広がった感じもしました

辛いことがあって
あの時は、すごい
辛かったが、今は
それでよかった。
すごくありがたい。
今の自分を作った
かも知れない

今から思えば
自分の中学時代は
無駄なことであった。
でも、自分のために
ならなかったのかと
言ったら違う。
大好きです。中学時代

自分史を書く形式や
内容についての
指定はないのですか

中学時代は
曖昧な時期でした

タイプ
5

アンケートを読んでいると
皆それぞれに
口には出さなくても
悩んでいるんだなあと思う

自分をもっとよく知って
目標を立てていかないと
自分の夢は叶わないと思う

タイプ
6

中学の頃から
「自分」という存在が
自分の中で大きく
なっていた

今まで「これにならなきゃいけない」と
思い込んで、1つの職業に絞って
他のものに目を向けていなかった
ように思います。もっと幅広い
視野を持って違う職業にも
目を向けてみようと思いました

当時の「夢」を思い出していたら
やたらたくさんあって、今現在よりも
「将来」がずっと遠く現実味のない
場所にあったのだと感じられた

物事を考える過程を
大切にしなければ
いけないと思った

知的生産の技術5 20011112

中学で、今の性格の根の部分が形成された気がする

先生の過去の話を聞いて嬉しかった

中学時代は、とても学校が荒れていたのだから、実は思い出したくない

タイプ9

昔の自分を振り返ることは今の自分に大きく影響を与える

自分のことは自分で決めたいという欲求がすごく強かったと思う。反抗期のまま、親が嫌いだった

先生が「自分の意見を言うことができない時期があった」というお話をされていましたが私もついこの前までそういう感じでした。周りの人が凄い事ばかり言っている気がしたから、でも私は等身大の自分を表現して、少しずつでも成長していければいいんだと思ってから、だんだん前向きな気持ちになれました

先生は俳句部から部室を取ったといわれましたがそれは尊敬されるべきことではないと思います。やはり俳句部の意見も聞き、譲ってもらう形がベストだと思います

今いち、皆で話し合う意味が分かりません。私は一人で書いている時の方が色々思い出します

先生の自分史を聞いてびっくりしました。でも最後に「探検」というキーワードを挙げられて、納得しました

タイプ7

中学校の時は怒られてばかり、今は全然怒られないのもちょっと寂しい

瞑想の時、ふと夢を見るような感じで昔の自分を見るのですがこれは正しい記憶なのでしょうか？それとも「皆こうだったら良かった」といような願望なのでしょうか

心が落ち着いている時じゃないと瞑想もできないんだなと思った

嫌なことたくさんあったけど今思い返すとどれもすごくいい経験で、今の私の一部になっていると思った。今より一生懸命な自分がいる

自分の今までの中で一番の転機、中学時代。それ以降、これまでこれからが、この時に決まった気がする

先生の性格タイプ3ってなかなか合っていると思った。先生なら政治家になれると思いますよ、きっと

中学時代はグレてたけどその時の親の「どんなに悪い事しても自分の事は自分で責任を取れ。取れないならするな」という厳しい教えがあったから今の自分があると思う

中学時代は辛い事が多すぎたけどそれを乗り越えてきたという事は実は充実していたのかもと思えるようになってきた

最近中学生を見る機会が多くてこんなにも幼かったのかと驚く

中学頃から「夢」というものがなくなった気がする。ただ「考える」ことをしなかっただけかもしれない。実を言うと今も「夢」はありません。今は「現実」だけで頭いっぱい!

自分は一人旅をするのが好きだが海外を訪問すると観光客の目の高さで、その国を見ることになる。そこで地元の人々と触れ合うと地元の人たちと同じ目の高さでその国を見ることになり問題意識の強い現実的なアイデアが見つけられると思う。そういう点で先生に共感できる

タイプ8

中学の頃を思い返すとあの頃が、この性格タイプの真髄を發揮していたなあと思う

先生の人生について小中学校の頃からもうすでに明確な夢を持っていたことを聞いて自分は手遅れのような気がした。常に小さな目標や夢を持って、日々過ごさなければと思った

いつから今の性格になったのか考え始めた

知的生産の技術5 20011112

最近、性格タイプがあまり関係なくなってきた気がする

色々なことを経験して今の自分がいるんだと改めて実感した。そう考えると悪いこともあったけど今の自分になるのに全部必要なことだったんだと思える

今日はいつもより人が少なく席に余りがあったため前のようにランダムなグループになれずに、友達とだけ話す形になった。席はつまっていた方が、良いグループが作れると思う

今日の講義で言っていた仕事のやつもらってません

中学の頃は「白の時代」であった。何をしてたっていう“1つ”はないけれど今よりは真剣に生きていたようだ

授業で過去を振り返っているからかもしれないのですが何だか昔の友達に会いたくなりました。同窓会がやりたいなあ

中学くらいから急に自分の将来のビジョンがなくなっていた。

私は今の自分を変えたいです。こうなりたいと思っているのにいつまでたってもなれなくてずっと心の葛藤をしています。どうしたら自分を成長させる事ができるのだろうと思い、どこか大きな所に飛び込んでみたい気分です

私は時々自分に大きな目標がないことに戸惑いを覚える事があった。しかし今回の講義を聞いて、目の前にある自分の小さな目標に対して、一生懸命頑張ってきた自分の生き方も良かったのだと思えた

宮城大学にも探検部があればいいなと思った

私は“何になりたい”という夢がありません。その時々で一生懸命生きている状態です。今日の先生のお話では一生懸命頑張れば、どこかでつながっているという事でしたが今の私では、本当につながっているのか、自信がありません

卒業以来会っていない友達先生はどうしているのか気になった。とても懐かしい気持ちになりました

タイプ
9

中学はその人のやる気次第でぐんぐん能力が伸びていく時期だと思った

自分史の方は、今の自分にどの段階でも少しずつ影響を与えていることが、少しずつ見えてきたけれど、決定的な影響を与えているのは社会人の頃かなと思っています

中学の色々なことが今の自分に直接関連していて思い出すと面白かった

友達や学校の思い出ばかりで親との思い出が全く出てこなかった

大講義室で授業して下さい。狭いです

将来の進路などへの漠然とした不安、希望が入り混じった複雑な感情を持った日々だった。自分が無知無能であると思えると同時に何でもできるような気がした

自分の3年間のこと、紙一枚に収めろという方が間違っている。無理だと思った。でも書けない人もいるのだろうか…？どうなんだろう。みんなは…？

今日のお話「その都度全力を尽くすこと」はとても大切だと思った

今日の教室少しあつのような気がしました

話の花が咲いた。色々思い出した。LOVE話がなぜかよく覚えてた。人間って不思議

中学時代は思い出す事がたくさんあった。しかしいざ文にしようと思うと書けない。あの頃の事を、どう文にしているのか分からない。質問にあるような事柄よりもあまりにも日常的な事が多く思い出される

中学校って小学校よりちょっとおマセで高校よりちょっと幼くて背伸びするような貴重な時代

実は私も大学生活の中で言葉を失いそうになりました。この授業を受けていて、段々それが改善されてきたように思います。友人からも「最近輝いてきたね」と言われました。更に精進したいと思います

久恒先生は自分の性格や生き方に全て満足ですか？

とても懐かしくてもう一回中学の頃に戻りたい気分です

?